

ぱーとなー

2008年8月
第81号

同仁会グループ

7/12

医療介護安全大会開催

患者・家族とつくる医療・介護の安全はどこまですすんだか



安全大会実行委員長
田端 志郎医師
(耳原総合病院副院長)

7月12日(土)堺市総合福祉会館で「同仁会グループ第8回医療介護安全大会」を開催。友の会会員様、職員など365名が参加しました。

安全大会実行委員長の田端 志郎医師(耳原総合病院副院長)より報告いたします

法人として最も重要視している集会 ～セラチア院内感染事件が教訓～

医療介護安全大会は、法人として毎年7月に行っている全体集会で、私たちが最も重要視している集会の一つです。耳原総合病院は2000年7月にセラチア菌院内感染事件を起こしました。この痛恨の事件から得た教訓を決して忘れず、医療介護の安全の取り組みを法人全体で進めてゆくために、7月に医療介護安全大会を行うこととしたのです。「安全」に関わる分野のうち、「感染」と「医療事故」を毎年交代で主題に設定し、各職場での取り組みの交流や講演による学習活動を行っています。この集会への参加者数は年々増えていますが、さらに今後も参加者数を増やしていく必要があると考えています。

今年の主題は「医療事故」

メインテーマは「患者参加の医療安全はどこまで進んだか」

今年の主題は「医療事故」であり、メインテーマを「患者参加の医療安全はどこまで進んだか」にしました。昨春秋に法人で行った医療安全の集会で、「患者・家族とともにすすめる医療介護の安全」をテーマとしたため、半年経ってどこまで進んだのかを確認する集会としたかったのです。昨春秋に私たちが提起した内容は、①患者様とともに医療安全を進めること、②すべての事業所で「名乗りによる患者確認」を定着させること(患者誤認ゼロ宣言)、③「安全ラウンド(病院内を医療安全の観点からチェックし巡視する活動)」を地域住民の皆さんと共に行うことでした。

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

○ 安全・安心・信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

○ 無差別平等の医療

私たちは人権を尊重した医療をすすめます

○ 患者負担の少ない医療

私たちは室料差額はいただきません

○ 地域とともに歩む専門職の育成

人権感覚をもつ専門職を養成します

当日の内容

各職場からの報告

- 放射線科の安全の取り組みの状況
診療放射線技師長 奈良 隆幸
- 耳原総合病院医局の
「患者誤認ゼロ運動」のとりくみ
耳原総合病院 副院長 田端 志郎
- 医療機器の安全管理と患者参加
臨床工学士 高橋 佳孝
- 看護分野の名乗り確認のとりくみ状況と課題について
リスクマネージャー 米村 晴美
- 病棟の「患者・家族のための医療安全17ヶ条」についてのその後の状況について
企画部長 伊藤 泰司

友の会からの報告

患者・利用者の視点で安全へのもの言い
院内巡視を医療者と一緒に

記念講演

医療安全とコミュニケーション
～心の壁を乗り越えよう～
講師：篠塚 雅也先生(大泉生協病院)

なぜ、医療安全を患者様とすすめることが必要なのか？

なぜ医療安全を患者様とすすめることが必要なのかという点について、少しお話ししたいと思います。医療安全の2本柱は、組織的な質の管理と患者参加とされています。提供する医療の質を組織的に管理する(ルール作りやガイドラインの決定など)ことはこれまで広く医療機関で行われてきたことです。それに加え、医療安全に患者が参加することにより、医療者とは異なる視点を持った、安全に対する「もう1組の眼」を得られ、ミスに気づきやすいという利点が生じるのです。



患者誤認防止活動ポスター

この半年間ですすめられてきたこと

今回の大会では、この半年で進んだこととして、「健康友の会みみはら」の会員様とともに安全ラウンドを開始したこと、医師は「外来診療において、自分にとって初めての患者様に、氏名生年月日を名乗っていたく」活動を開始し、看護師は「注射、点滴の際に、氏名を名乗っていただく」活動、放射線技師は「撮影前の氏名確認」活動を開始したことなどが報告されました。

患者-医療者間の双方向の良好なコミュニケーションが基本

しかし、患者参加の医療安全は、患者-医療者間の双方向の良好なコミュニケーションが基本になれば成立しません。医療情報は生命に直結するため、医療におけるコミュニケーション不全は、患者-医療者間、医療者-医療者間ともに重大な医療事故に繋がります。しかし我々医療者は、コミュニケーション技法の教育を十分には受けてきていません。講演では大泉生協病院の篠塚雅也先生をお招きし、「医療安全とコミュニケーション」という題で講演をいただき、コミュニケーションの本質や、ポイントについて学習しました。示唆に富む、とても有意義な講演でした。

医療安全に終点はありません。今後も安全な医療を提供できるよう、全職員一丸となって頑張っていく所存です。



眼科の医療連携

～堺市眼科医会 定例学習会～



堺市眼科医会では、定期的に勉強会を開催しています。今回は耳原総合病院で行なわれたので報告いたします。眼科部長小林 崇俊医師より当院の眼科紹介をした後、参加いただいた開業医さまより、当院眼科へのご要望等をうかがいました。今後の地域連携に役立てていきたいと思っています。

耳原総合病院地域医療室
電話 072-241-0324
Fax ①072-241-0208
Fax ②072-241-0670

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせ予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。☆☆☆
☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。☆☆☆

☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆